第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001
第175号



解けなかった一問が、未来を変える

解けなかった一問が、未来を変えることがある。

全国統一小学生テスト・全国統一中学生テストが実施された。全国のライバルたちと同じ問題に挑み、自分の力を試した生徒たち。すらすらと解けた問題もあれば、最後まで答えにたどり着けなかった問題もあったはずだ。見慣れない文章。複雑に絡み合う条件。どこから手をつければよいのかわからない難問。まるで地図にない道を前にした旅人のような気持ちになった人もいるだろう。しかし、そこにこそ全国統一テストの価値がある。学力とは、知識をどれだけ蓄えたかだけではない。その知識を使い、未知の問題にどう立ち向かうかという力でもある。

知識は、旅に必要な装備に似ている。計算力も、漢字も、公式も、すべて大切な装備だ。しかし、どれほど立派な装備を持っていても、それを使いこなせなければ、新しい道は切り拓けない。算数や数学の難問を前に、問題文を何度も読み返す。図を描き、条件を整理し、行き詰まれば別の方法を試す。答えが出ない。消しゴムで式を消す。そして、もう一度考える。その時間こそ、思考力が鍛えられている時間である。

そして、思考の土台となるのが言葉の力だ。語彙力が不足していれば、問題文という地図を正確に読み解くことは難しい。国語だけでなく、算数の文章題も、理科や社会の資料問題も、すべて言葉の理解から始まる。さらに、難問への挑戦は、粘り強さや失敗から立ち直る力も育てる。すぐに諦めず、間違いを修正し、再び挑戦する。こうした非認知能力も、未来を支える大切な力となる。もちろん、その力を育むには日々の積み重ねが欠かせない。徳島第一ゼミが重視する予習型学習もその一つだ。塾で新しい内容に出会い、学校で理解を深め、復習で定着させる。「わかった」を「できる」に変える反復が、確かな学力を築く。さて、今回のテスト結果をどう受け止めるべきか。点数や偏差値は、未来を決める判決ではない。今の自分の現在地を示すものだ。大切なのは、現在地を知った後の行動である。間違えた問題には、次に伸ばすべき力が隠されている。解き直しを通じて弱点を発見し、一つずつ克服していくことが、次の成長への道となる。間もなく冬がやってくる。冬休みは短いが、自分の課題と向き合う絶好の機会だ。徳島第一ゼミの冬期講習も、次の飛躍に向けて力を蓄える場となる。目の前の一問は、高校入試や大学入試、さらにはその先の未来へとつながっている。解けなかった一問は、可能性の終わりではない。そこから考え始めることで、未来への新しい道が開けるのだ。

（宇都宮先生）

ゼミ中学部だより（11月）

中3生の皆さん、今、目的や目標を持って毎日の勉強に取り組めていますか。もちろん、中1生や中2生の皆さんにとっても大切なことです。「勉強しなければいけないのに、なかなか手がつかない」「焦っているのに、思うように進まない」と感じることもあるでしょう。

しかし、そこで自分に負けてはいけません。やる気が出るのを待つのではなく、まず行動することが大切です。今回は、私自身の学生時代の経験も踏まえ、ぜひ実践してほしい4つの勉強法を紹介します。

①「勉強の流れ」をつかもう!

勉強を進める際に気をつけてほしいことは、知識を単独で覚えるのではなく、前後のつながりを意識することです。例えば、歴史なら用語を暗記するだけでなく、「誰が、いつ、何をして、なぜそうなり、どうなったのか」という流れを理解しましょう。英語や数学、理科でも、公式や文法を覚えるだけでなく、使い方や仕組みを理解することが重要です。

特に中3生は、入試までの時間を有効に使う必要があります。基礎を確認したら標準問題へ、さらに必要に応じて応用問題へと進み、知識を実際に使う力を養いましょう。

②友達に教えて、理解を深めよう!

自分が勉強した内容を人に教える機会を持ちましょう。問題の解き方を説明するには、自分自身が内容を理解していなければなりません。人に教えることは、自分の理解度を確認する絶好の機会です。

ただし、友達に頼りきりになり、質問ばかりしていては成長できません。まず自分で考え、解説を読み、それでもわからない部分を質問する。この姿勢を大切にしましょう。

③時計を意識して勉強しよう!

常に時間を測って勉強しましょう。「英単語を10分で覚える」「数学の問題に30分集中する」など、時間と目標を決めて取り組みましょう。入試では、限られた時間で正確に解答する力が求められます。

スマートフォンのタイマーに頼りすぎず、時計を確認しながら、自分で時間配分を調整する習慣も身につけてください。長時間机に向かうだけでなく、集中して取り組むことが大切です。

④まとめノート作りに時間をかけすぎない!

そして、多くの受験生達が陥ってしまうこと、それはノートを作ることです。きれいにまとめると勉強した気になりますが、暗記や問題演習がおろそかになっては意味がありません。授業では先生の説明をしっかり聞いて理解し、ノートは復習に活用しましょう。特に、間違えた問題を解き直し、何度も反復することが学力向上につながります。まとめる時間よりも、覚えた知識を使い、定着させる時間を大切にしてください。

最後に、勉強は時間をかけるだけでなく、方法を工夫し、継続することが重要です。中3生は受験への焦りを行動に変え、中1生・中2生は今のうちに正しい学習習慣を身につけましょう。「わかっているけれど、できない」を「わかっているから、実行する」へ。

今日の努力が未来の自分をつくります。目標に向かって一歩ずつ前進し、精一杯の自分になれるよう、これからも本気で頑張っていきましょう!

（工藤先生）

第2回基礎学力テスト

11月11日（水）、くしくもポッキーの日（我が家ではこの日に必ずポッキー、極細のもの、を食べます）に公立中の中学3年生にとっては最も重要とされる第2回基礎学力テストが実施されます。準備の進捗状況はいかがでしょうか?

第1回の成績をもとに、どの教科・どの単元に力を割くべきか、基礎力の徹底に努めるのか、応用力を身に着けていくべきか、個々人にとっていろいろ考えるところがあり、実践している最中だと思います。計画性をもって、この「考えながら対策する」ことこそが非常に重要です。ただやみくもにもらったテキストやプリントをこなすだけより、絶対に効果が大きいと思います。

1月上旬には第3回がありますが、ここで挽回ができるのは事実ですが、やはり第2回も点をとれるだけとっておきたいものですね。音楽を自由に聞いたり、スマートフォンを時間を気にせず触ったりが今はできない日々ですよね。いろいろ受験勉強のために制限をかけながら懸命に頑張っている第一ゼミ中学3年生の皆さん、希望溢れる高校生活まであと少しです。共に頑張っていきましょう!!

（竹田先生）

11月11日を、忘れられない一日に

秋も深まり、朝夕の冷たい空気に冬の訪れを感じる季節となりました。木々の葉は赤や黄色に色づき、少しずつ日が短くなっていきます。そんな11月には、ちょっと楽しい記念日があります。

11月11日。「ポッキーの日」です。

数字の「1」が4本並んだ姿が、細長いポッキーに似ていることから生まれた記念日です。お菓子売り場にはさまざまなポッキーが並び、友達同士で話題にする人もいるでしょう。

ところが、今年の11月11日は、中学3年生にとって、ポッキーを食べている場合ではないかもしれません。そうです。この日は「第2回基礎学力テスト」が行われる日なのです。

徳島県の中学3年生にとって、基礎学力テストは志望校を決めるうえで非常に重要なテストです。なかでも第2回は、志望校への出願を考えるうえで、最も重要な意味を持つテストとなります。

ここで、ポッキーの話に少し戻りましょう。ポッキーは、細い一本だけでは簡単に折れてしまいます。しかし、何本も束ねれば、そう簡単には折れません。勉強も同じです。一日一日の努力は小さく感じられるかもしれません。でも、その努力を何日も何日も積み重ねていけば、簡単には折れない自信と実力になっていくのです。

中学3年生の皆さんに、今、強く伝えたいことがあります。この秋を、これまでの人生で最も勉強した期間にしてください。「これ以上はできない」と思うくらい、本気で勉強に向き合ってほしいのです。苦手な問題から逃げず、間違えた問題を何度も解き直す。覚えきれていないことを一つずつ覚える。その地道な繰り返しこそが、結果を変える力になります。

秋の木々が冬に備えて少しずつ姿を変えていくように、皆さんも今、大きく成長する時期を迎えています。

11月11日が、ただの「ポッキーの日」ではなく、「あのとき、自分は本当に頑張った」と胸を張って振り返ることのできる一日になってほしいと思います。そして、試験が終わったら、ポッキーを一本。その一本が、いつもよりずっとおいしく感じられますように。

（日下先生）



ハイブリット通信

全国統一中学生テストが近づいてきました。このテストは、全国の中学生と同じ問題に挑戦し、自分の学力を全国の中で把握できる貴重な機会です。大切なのは、偏差値や順位だけを見るのではなく、今の自分の課題を知り、今後の学習につなげることです。以下、全国統一中学生テストを受ける上での大切な心構えや注意点などを記しておきます。

●最後まで粘り強く取り組もう!

全国統一中学生テストでは、学校の定期テストとは異なり、幅広い知識や考える力が求められます。難しい問題に出会っても、すぐに諦めず、問題文をよく読み、これまでに学習した知識を使って考えてみましょう。また、時間配分を意識し、解ける問題から確実に得点することも大切です。

●テスト前の準備を大切に!

テスト前は、英単語や文法、数学の公式や計算方法など、基本事項をしっかり確認しましょう。苦手な単元や以前間違えた問題を復習することも効果的です。難しい問題ばかりに取り組むのではなく、基礎を確実に身につけておくことが得点力の向上につながります。

●本当の勝負は、テストが終わってから!

テスト後は、点数や偏差値だけでなく、間違えた問題にも注目しましょう。知識不足なのか、解き方が分からなかったのか、時間が足りなかったのか、原因を考えることが大切です。そして、解説を読んで解き直したり、苦手分野を復習したりと、次の学習につなげましょう。

テストは受けて終わりではありません。今回の結果を次の一歩につなげ、一緒に学力を伸ばしていきましょう!

(小倉先生)

文理コース選択

高校生にとって文理選択や受験科目の決定は、進路を考えるうえで最初の大きな選択です。しかし、「数学が苦手だから文系」「友達が理系を選ぶから自分も理系」といった理由だけで決めてしまうのはおすすめできません。今の得意・不得意だけでなく、自分が将来どのようなことを学びたいのか、どんな職業に興味があるのかを考えることが大切です。

また、大学や学部によって必要な受験科目は大きく異なります。特に国公立大学では幅広い科目の学習が求められるため、早い段階から志望校の情報を集めておくことが重要です。「もっと早く調べておけばよかった」と後悔する受験生は少なくありません。

文理選択で迷ったときは、好きな教科だけでなく、「将来も学び続けたいと思える分野か」という視点で考えてみましょう。また、自分一人で判断せずにいろいろな意見を聞いたうえで、保護者の方とも相談しながら決めることをおすすめします。

進路選択に絶対の正解はありません。しかし、自分で調べ、考え、納得して決めた選択は必ず将来につながります。高校1・2年生のうちから将来を意識し、選択肢を広く持てるよう準備を進めていきましょう。今の一つひとつの選択が、未来の可能性を大きく広げることにつながります!

(伊勢先生)

体調管理の大切さ

大学入学共通テスト本番まで、あと2か月半ほどとなりました。受験生の皆さんは、志望校合格に向けて、毎日必死に勉強に取り組んでいることと思います。しかし、勉強を頑張ることと同じくらい、体調管理も大切です。

どれだけ努力を重ねても、本番で体調を崩してしまえば、これまでの力を十分に発揮できないかもしれません。悔いの残る受験にしないためにも、今からできる対策を徹底しましょう!

①感染症対策を徹底する!

冬はインフルエンザなどの感染症が流行します。帰宅後の手洗いなど、基本的な対策を毎日続けましょう。「自分は大丈夫」と油断せず、自分の身を守る行動を心がけてください。

②睡眠時間を削らない!

「あと少し勉強したい」と夜更かしをしていませんか? 睡眠不足では、集中力も学習効率も落ちてしまいます。無理に勉強時間を増やすのではなく、十分な睡眠をとり、翌日も集中して勉強できる状態をつくりましょう。

③食事をしっかりとり、体力を維持する!

忙しくても、食事を抜いたり、適当に済ませたりしてはいけません。3食しっかり食べ、勉強の合間には適度に体を動かしてリフレッシュしましょう。最後まで走り抜くための体力を維持することも、受験生の大切な仕事です。

ここからの2か月半は、合否を左右する大切な期間です。焦る気持ちは分かります。しかし、無理をして体調を崩してしまっては、本末転倒です。勉強する時間を確保するだけでなく、体調を整えることまで含めて受験対策だと考えてください。

これまで積み重ねてきた努力を、試験当日に最大限発揮するために。今日から改めて、勉強にも体調管理にも本気で取り組みましょう! 最後まで走り切れる準備をして、万全の状態で本番を迎えよう!

(河野先生)

秋の夜長に

朝晩の冷え込みが深まり、紅葉が美しい季節となりました。今年も残すところあと2か月。学習面でも、これまでの成果を振り返り、次の目標に向けて努力を重ねる大切な時期です。

11月3日は全国統一小学生テストが開催されます。また、「文化の日」でもあります。文化とは、先人たちが知恵と工夫を積み重ねて築いてきたものです。皆さんが学んでいる数学や理科、歴史も、未来につながる大切な知識です。毎日の地道な学習を大切にし、自分の可能性を広げていきましょう!

中学3年生の皆さんは、今月実施される第2回基礎学力テストが大きな目標となります。第1回の結果に満足した人も、悔しい思いをした人も、ここからの取り組みが大切です。間違えた問題を見直し、時間配分や解く順番も意識しながら、次のテストに向けて準備を進めましょう。

そして、朝晩の寒さが厳しくなる時期です。手洗い・うがいなどの感染症対策を心がけ、十分な睡眠をとり、体調管理にも気を配りましょう。

努力は一日では大きな成果にならなくても、積み重ねることで確かな力になります。目標に向かって、一歩ずつ前進していきましょう!

(市原先生)

スケジュール帳

みなさんは本屋や文房具屋に行くことはあるでしょうか。最近は、本屋の角に併設されているのも見かけます。秋の時期になると、お店に来年のスケジュール帳が並び始めます。素敵なスケジュール帳を見るだけで、来年への期待が膨らみ、ワクワクするのは私(中の人)だけでしょうか。

近頃、予定管理はすべて、スマホのアプリで、という人もいるかと思いますが、やはり紙のスケジュール帳に予定を書き込むことで、いつでも目に見えるところに予定があり、予定が視覚化することで、いま、自分がなすべきことが見えてくることもあります。

また、家族で予定を共有することで、旅行や遊びに出かける予定が見えることもあり、それがモチベーションとなって、勉強や日々のことに取り組むやる気も出てくるかもしれません。

また、予定を管理するだけではなく、スケジュール帳には、日記のような役目もあります。その日あったこと(うれしかったこと、悲しかったこと等)を書き記しておくことで、あとで見返して、楽しむこともできます。最近ではシール帳も流行っていることですし、シールやマスキングテープで飾る(デコる)のも手帳の楽しみ方の一つかもしれません。

まだ手帳デビューしていない方は、ぜひ来年は自分のお気に入りの手帳を手に入れてみてはいかがでしょうか。

(第一駅前学童
第一駅前英会話)



2026年 11月の予定

1日(日)
全国統一高校生テスト
2日(月)
公中検模試(ゼミ小6城ノ内受験生)
3日(火)
全国統一小学生テスト
※火曜日の通常授業はいつも通り行います。
7日(土)
小2.3月例テスト13:45〜14:50
※ゼミの毎週テストはありません。
8日(日)
小4.5公開組み分けテスト(四谷)9:00〜12:05
15日(日)
第2回 千葉大本番レベル模試
第2回 神戸大本番レベル模試
小6合不合判定テスト(四谷)9:00〜12:05
22日(日)
第4回 早大・慶大レベル模試
第4回 全国国公立大 記述模試
第4回 上理・明青立法中レベル模試
第4回 関関同立レベル模試
29日(日)
第2回 広島大本番レベル模試
第3回 一橋大本番レベル模試
第3回 東京科学大本番レベル模試

言葉の力

「言霊」

NO.265

言葉が変われば、心が変わる。
心が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、未来が変わる。
前向きな言葉は、自分を励まし、
誰かの心に勇気を与える力になる。
何気ないひと言にも、想いを込めて。
今日も明るい言葉を紡ぎながら、
自分の未来を、一歩ずつ切り開いていこう。



